

お知らせ

令和7年第2回 栗原市議会定例会

● 日程・内容

- 2月12日(水)本会議 会期の決定、議案の提案理由説明など
- 19日(水)本会議 一般質問(代表質問)
- 20日(木)～25日(火)本会議 一般質問(個人質問)
- 26日(水)本会議 一般質問(個人質問)、議案の総括質疑など
- 27日(木)～28日(金)各常任委員会・予算特別委員会 付託議案審査
- 3月3日(月)本会議 各常任委員会・予算特別委員会委員長報告、質疑、討論、採決など
- 4日(火)～7日(金)予算特別委員会 令和7年度当初予算議案の審査
- 10日(月)本会議 予算特別委員会委員長報告、質疑、討論、採決など
- 土・日曜日、祝日は休会
- 一般質問や議案の件数によって、会期を変更する場合があります。
- 開会時間 午前10時～
※3月3日(月)は、午後1時30分開会

郵送で提出してください。
※郵送は、2月14日金当日消印有効
※詳しくは、市ウェブサイトを確認いただくか、問い合わせください。

問 教育部学校教育課
〒989-5171
栗原市金成沢辺町沖200番地
☎(42)3512

全国瞬時警報システム 全国一斉情報伝達試験

弾道ミサイル情報、緊急地震速報など、緊急情報を瞬時に伝達する「全国瞬時警報システム(Jアラート)」の全国一斉情報伝達試験が行われます。
● 日時 2月12日(水) 午前11時ころ
● 試験内容 緊急時に迅速・確実に緊急情報を伝えるため、国から配信された緊急情報を受信し、防災行政無線を自動起動させて、試験用の放送を市内一斉に流します。
※当日は、防災行政無線で午前9時45分に試験実施の事前告知放送を行います。
※災害の発生状況、気象状況により、試験を中止する場合があります。

● 放送内容 防災行政無線か

● 場所 市役所4階 議場
● 傍聴 席数25席
※車いすで傍聴できます。
● 請願・陳情の提出 本定例会で審査する請願または、紹介する陳情は、2月25日(火)正午まで、議会事務局へ提出してください。

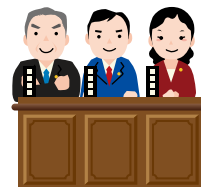
議会中継の視聴方法

議会の本会議などの中継は、本庁舎および、各総合支所のテレビで視聴できる他、パソコンやスマートフォンなどで市ウェブサイトの議会情報から、インターネット中継を視聴することができます。



問 議会事務局

☎(22)1170



令和7年度任期付 市費負担教員採用試験

個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指し、少人数での学級編成を行うため、任期付市費負担教員を募集します。

● 選考種別
□ 一般選考
● 教職経験者特別選考
● 申込期限 2月14日(金)
● 試験日 2月22日(土)
● 試験会場 金成庁舎
● 試験方法

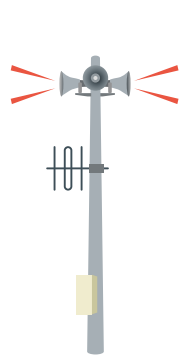
□ 一般選考 小論文、面接
● 教職経験者特別選考 面接
● 採用区分、採用人数
□ 小学校教諭 9人程度
□ 中学校教諭 3人程度
● 受験資格
● 共通事項

□ 教育職員免許法に規定する小学校、中学校教諭の普通免許状を所有している人または、令和7年3月31日までに取得見込みの人
□ 地方公務員法第16条および、学校教育法第9条の欠格条項に該当しない人
● 教職経験者特別選考

□ 宮城県職員永年勤続者表彰(宮城県職員表彰規定第5条)の表彰を受けている人または、宮城県以外の自治体で同等の表彰を受けている人
● 申し込み 募集要項と申込書 は、金成庁舎2階学校教育課で配布します。申込書に必要事項を記入の上、学校教育課に持参または、

□ 市の文化財施設など、対象施設の入館料無料
● 運転経歴証明書で受けられる支援 運転経歴証明書の提示で、次の支援が受けられます。
□ タクシー乗車料金10パーセント割引
□ 大型スーパーでの割引など
● 申請に必要な書類
□ 運転免許取消通知書の写しまたは、運転経歴証明書の写し
※運転免許取消通知書、運転経歴証明書の交付手続きは、警察署または、運転免許センターに問い合わせください。

問 総務部危機対策課
☎(22)1149



高齢者の運転免許 自主返納支援

市では、運転免許証を自主返納した高齢者に「運転免許自主返納者証(プラチナパス)」を交付し、さまざまな支援を行っています。

● 対象者 市内に住所がある満65歳以上で、運転免許証を自主的に返納した人

支援内容

- 金成延年閣、花山温泉湯山荘、ハイルザーム栗駒の入浴料・利用料の免除
- ※3施設合わせて3回まで利用可能
- 支援店の利用による特典やサービス

市内の文化財散策

小坂本白山神社板碑群

一迫地区小坂本の白山神社には、3基の板碑があります。板碑とは、亡くなった人の供養のためや、生前に自身の死後の冥福を祈るために造られた中世の石碑です。その素材は、板状に加工しやすい粘板岩製のものが主流ですが、小坂本白山神社の板碑は安山岩の河原石を素材としています。3基の板碑は、高さがそれぞれ56センチメートル(1号碑)、60センチメートル(2号碑)、20センチメートル(3号碑)で、3号碑は下部が欠損していて、元の高さは不明です。1号碑と3号碑には大日如来、2号碑には地藏菩薩を表す梵字が刻まれていますがいずれの碑にも「願文」が無いことから、どのような供養を願って作られたものか、分かっています。

北朝時代初期、3号碑は南北朝時代前半のものと考えられています。
安山岩の河原石を素材とした板碑は大崎平野以南に多く、市内ではあまり見られません。この地で、どのような人々が何を願ったのか。丸みを帯びたこの石碑に、当時の人々の祈りが込められています。

問 教育部文化財保護課

☎(42)3515



▲(左から)1号碑、2号碑、3号碑



市長随感

栗原市長 佐藤 智

大切なひととき

2月になりました。暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続きます。朝方は特に冷たい空気が身に染みるので、朝食の後に飲むコーヒーマグの温かさが、とてもありがたく感じます。

私はコーヒーマグが好きで、昔から、朝の1杯で1日のスタートを切るのが日課です。コーヒーマグの香ばしい香りとともに、頭がしゃっきりとさえる感覚が何とも言えません。

毎朝、家族のコーヒーマグを入れるのは私の仕事なので、日頃の感謝を込めて、おいしい一杯を心掛けています。お気に入りのマグカップを両手で包みながら、一口ずつ味わう時間が、ちょっとした癒しのひとときです。

公務でお会いした市民の皆様さんと、コーヒーマグの話でお話することもありますが、



▲愛用のコーヒーマグが大切なひとときを過ごす